創立60周年特集号より

　　　　　　平成19年６月号　　藤崎事務局長抜粋

**退公連よ永遠なれ**

　　　　　豊築支部長　小畑慎太郎

今年は,米寿を迎えた班長・支部長・県の副会長を経て、現在の支部長・ブロック長をつとめている。

　私の父も、退公連の設立当時から53年死亡まで会員であった。昭*和19*年敗戦の前年55歳の若さで校長を退職した。当時の年金は二千円、しかし戦後のインフレであっというまに貧乏家庭となる。二人の弟はまだ中学を出たばかりこれでは家族は養えぬと有志が立ち上ったのが我が退公連、私は満州から無事復員し教職についたが、インフレの波には為すすべもない。

時の首相池田氏に陳情陳情の連続であった。

しかし、その効果が表われてベースアップの連続「嬉しいのう』と父がまた上った上ったと嬉んでは事務処理に励み、多くの人を会員に加入させていた姿を思い出す。

当時は50人近くの会員がいた。鉄道・警察・郵政・教員等々がよろこび勇んで加入し、総会は大いに盛り上ったことを昨日のように思い出す。

私も退職し、父の跡を継いで、班長・副支部長・支部長の道をたどり、前述のように県の副会長まで努めさせていただいた。高齢化社会、毎年一人二人死んでゆき、今は我が班も僅か10有余人、何時か我をも浄土の人となる。

会よ榮よ!!